

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成29年 5月30日（火）
- 2 時 間 開会 午後7時～ 閉会 午後8時35分
- 3 場 所 玉川こども図書館 2階 交流ホール
- 4 参加人数 54名
- 5 出席議員 黒沢和規議長、下沢広伸副議長、
高 誠経済環境常任委員長、
松井 隆経済環境常任副委員長、
広田美代経済環境常任委員、野本正人経済環境常任委員、
小林 誠経済環境常任委員、松井純一経済環境常任委員、
横越 徹経済環境常任委員、
源野和清文教消防常任委員長、
上田雅大文教消防常任副委員長、
長坂星児文教消防常任委員、小阪栄進文教消防常任委員、
高岩勝人文教消防常任委員、山本由起子文教消防常任委員、
玉野 道文教消防常任委員、高村佳伸文教消防常任委員、
喜多浩一総務常任委員長、
麦田 徹市民福祉常任委員長、
前 誠一建設企業常任委員長、
松村理治議会運営委員長
（オブザーバー議員）
中川俊一議員、小間井大祐議員、坂本泰広議員、
大桑初枝議員、久保洋子議員、森 一敏議員、
秋島 太議員、森尾嘉昭議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

高誠経済環境常任委員長の進行のもと、黒沢和規議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った後、松井隆経済環境常任副委員長から平成28年度金沢市議会3月定例会議会報告を行った。次に、上田雅大文教消防常任副委員長から意見交換会のテーマについて説明を行った後、源野和清文教消防常任委員長に進行を交代し、各グループにてテーマに関するワークショップ及び意見発表を行い、下沢広伸副議長の閉会挨拶で閉会した。

1. 開 会

【高誠経済環境常任委員長】

皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催したいと思います。

本日の司会進行を務めます経済環境常任委員長の高誠です。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、本日配付させていただきました資料、意見交換会次第に基づきまして進行させていただきます。

開会に当たりまして、金沢市議会黒沢和規議長から皆様方にご挨拶を申し上げます。

【黒沢和規議長】

皆さん、こんばんは。きょうは金沢市議会の市民の皆様方との意見交換会でございます。

私どもは議会といたしまして、市民の皆様のご意見を直接拝聴させていただいて、議会での議論を深め、さらには金沢市の行政に反映すべく、そんな趣旨で平成26年からこうした議会と市民の皆様方との意見交換会を開催させていただいている次第でございます。

いろんな形でこれまで何回か交換会をさせていただいているわけですが、ことしの2月に金沢の文化にかかわることで意見交換会を開催させていただきました。そのときに、さらに金沢の文化の継承と発展について議論を深めてはどうかということがございましたので、きょうの2回目は、ワークショップの形で開催をさせていただくことになりました。

きょうは、いわゆる流通や販売など経済の部分にかかわる経済環境常任委員会というところと、作家さんなどものをつくられる方々にかかわる文教消防常任委員会というところの2つの委員会で担当させていただきまして、議論を進めさせていただければというふうに思っております。きょうは、作家の方々や流通関係の方々、そしてそれを販売していただく方々、さらには実際に現在いろんな研究をされておられる卯辰山工芸工房の方々にもお越しをいただいているわけございまして、まずはご意見を頂戴して、これから私ども議会の議論を深めさせていく糧にさせていただければというふうに思っているわけでございます。

そして、きょうはたくさんの一般市民の方々にもご参加をいただいております。改めて皆様方にご参加をいただきましたことにお礼を申し上げ、一言ご挨拶とさせていただきます。

本日はまことにありがとうございます。

2. 出席者の紹介

【高誠経済環境常任委員長】

次に、今回の出席者の紹介に移りますが、本日は意見交換の時間を多くとりたいと考えておりました、大変恐縮ですが、配付させていただきました資料の中の議員の紹介、本日の参加者の資料に基づきまして紹介にかえさせていただきますことをご容赦願います。なお、オブザーバー議員は、会場に入ったすぐ手前のところにおりますが、名前の記載がないこともあわせてご承知願いたいと思います。

次に、本日の意見交換会について簡単にご説明いたします。これは金沢市議会が主催するもので、市民の代表として議会に出ている議員と市民の皆様との意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けようとするもので、金沢市の事業を説明する場ではありません。今回は、2月に金沢の文化の人づくりについてとして意見交換会を開催した際、意見交換が余りできなかったことや、再度、文化に関する意見交換会を開いてほしいとの意見があったことから、金沢の文化の継承と発展をテーマに開催することにいたしました。

それでは、受付で配付しました資料のうち、意見交換会という資料をごらんください。この後は、議会報告として3月定例会議会について、その後、本日のテーマについて簡単にご説明し、文化、特に工芸や流通に携わっている方などの専門家を交えたワークショップ形式で意見交換を行いたいと考えております。なお、ワークショップの方法は、後ほどご説明いたします。

3. 議会からの報告

・平成28年度金沢市議会3月定例会議会報告

【高誠経済環境常任委員長】

それでは、平成28年度金沢市議会3月定例会議会につきまして、経済環境常任委員会、松井隆副委員長よりご報告いたします。

[松井隆経済環境常任副委員長が平成28年度金沢市議会3月定例会議会報告について別紙のとおり説明]

4. テーマ（金沢の文化の継承と発展について）に関する意見交換

・テーマについての説明

【高誠経済環境常任委員長】

続きまして、本日のテーマに移ります。資料は、意見交換会を開催するに当たりまして、皆さんと意識や情報の共有を図ることを目的に、現在、議会として把握している情報をもとに作成いたしました。なお、資料は皆様のお手元にも配付しておりますので、そちらもご参照願います。

テーマに関する資料は、文教消防常任委員会、上田雅大副委員長よりご報告いたします。

[上田雅大文教消防常任副委員長がテーマについて別紙のとおり説明]

・ワークショップによる意見交換

【高誠経済環境常任委員長】

それでは、これよりワークショップによる意見交換に移りますが、進行は文教消防常任委員会、源野委員長が行います。

【源野和清文教消防常任委員長】

それでは、テーマに移らせていただきます。

文教消防常任委員長の源野和清でございます。よろしくお願いたします。本来なら、今、この各テーブルにお座りいただいている皆様方お一人お一人、テーマに沿ってご紹介したいところがございますが、いま一度名簿のほうでご確認いただきたいと思います。

それでは、ワークショップを始めたいと思いますので、まず、委員の皆様は各テーブルのほうにお着きください。

[経済環境常任委員、文教消防常任委員が各グループの座席へ移動]

【源野和清文教消防常任委員長】

きょうの意見交換会ですが、各テーブルには作家さん、特に工芸中心の方々、また販売、流通の方々、そして卯辰山工芸工房の研修生の方々、そして市議会議員に座っていただいております。テーブルごとに、金沢の文化の継承と発展について議論してもらおうところがございます。

まずは、このスライドにございますように、これはあくまでも例でございますが、今回の意見交換会を行うに当たって、私たち市議会の中でもさまざまな意見が今まで交わされてきております。このように、金沢の文化の継承と発展については、担い手支援のための環境整備、またクラフトのブランド力向上やビジネスチャンス、魅力の発信、そして交流・連携についてといったさまざまな視点がございます。こういったことを本日お集まりの皆様方の専門分野の中からテーマを選んで、活発な意見を出していただけてワークショップを進めていただければと思います。

それではまず、皆様のテーブルの中でお話をするに当たって、それぞれのことを知っていただくためにも、自己紹介をしていただきたいと思います。30秒ぐらいでお一人ずつしていただきたいと思いますのですが、30秒ってちょっと短く感じますが、私が簡単にやってみます。「私は文教消防常任委員長の源野と申します。本日は、売り手、つくり手の皆様方のご意見を賜りたくお集まりいただきました。活発な意見をしていただけると思っていますので、よろしく願いいたします」というぐらいの長さでございませう。ということで、お一人ずつ日ごろから話している議員の方から先陣を切って、時計回りでよろしく願いいたします。

[各グループにて自己紹介]

【源野和清文教消防常任委員長】

それでは、次に入ります。このスライドを見てください。ここが非常に一つのポイントでございませう。個人ワークでございませう。

本日いろんな思いを持って集まっていたと思っていますが、それをまず個人ワークとしてご意見を出してください。これが、その後のグループワーク、グループ協議の中で非常に生きてきますので、まず3分間を使って、附箋のほうに思いついたことをどんどん遠慮なく書いてください。簡単なことでもオーケーでございませう。その後15分のグループ協議になりますので、まずこの3分間でよろしく願いいたします。

具体的にどんなことを書けばいいのかということですが、先ほど皆様方にご提示いたしました課題でございませう。例えば、研修生の方々であれば、自分たちの発表のチャンスはあるのかなのかとか、いろんな機会はどこにあるのかと言われると、一般的に行政のほうでメニューは用意されておりますが、皆様方のテーブルにある資料に書かれているような機会もございませう。流通関係の方々におかれましては、なかなかいい商品との出会いがないというご意見も前回聞かれたところでもございませう。一方で、つくり手の方々は、それぞれのコンセプトは崩したくないという思いもある一方で、作品の制作に集中することにおいては、なかなか販売のほうに一緒に出かけていると時間がないといった課題がそれぞれの立場であるはずでせう。

議員の方々は、行政の政策メニューを幾つかご存じかと思っておりますので、こんなことがあるのではないかということで、例えば、東京に銀座の金沢というお店があり、そこですぐれた作品を販売されております。実際、そこで売り上げを伸ばしている方もおいでるようでもございませう。一方で、なかなか東京というマーケットは厳しいようで、売れる、売れないもはっきりするということも聞かれます。そういった中で、どのようにしてビジネスチャンスをつかんだらいいのかなど、皆様方の思いつくことをどんどん書いていただくことが必要かと思っております。

[各グループにて個人ワーク]

【源野和清文教消防常任委員長】

それでは、次の段階に移りたいと思います。

皆様方の今お出しいただいたご意見、それぞれあると思いますが、皆様方のグループの中でしっかりと話し合いした上でカテゴリーを分けてください。カテゴリーの作り方は自由ですが、例えば今言ったように大きくいえば作り手と売り手、売り手の中でもさらに細分化すると、これはお金のかかる話とか、これは情報共有の話とか、それぞれのサブタイトル、一言で言いあらわせるような考え方でカテゴリー分けをしてください。カテゴリーの作り方は自由でございます。皆さん方の中で話ししていただきたいと思います。

ここから一つお願いがございます。皆様方がグループ分けをしているうちに、なかなか話がまとまらないことがございます。各グループの中で議員の方以外で、リーダーを皆さんで決めてください。議員の方はあくまでもサポーター役に徹してください。グループ分けをしながらリーダーを決めてください。後ほど発表にもつながりますので、意識して皆さんで仲よく話し合いをしていってください。

時間の目安は約15分から20分で、皆さんの進行状況を見て次の段階に移りますので、よろしく願いいたします。

[各グループにてグループワーク]

【源野和清文教消防常任委員長】

それでは、次の段階に入ります。

皆様方が書いていただきましたカテゴリーにキーワードがございます。それに対して、まとめの10分間となります。テーブルごとに、1テーブル5分の持ち時間で模造紙をプレゼンの原稿のように持っていただいて、話ししていくことになります。この10分間で、まずそのお話をされる方を議員の方以外でお願いしたいのですが、お話しされる方を決めていただき、そして、どんなことを5分間で話しするのか、各テーブルで話しすることを、ある程度キーワードを決めて話ししやすいように話ししてください。

それでは、テーブルごとにお話し合いを初めてください。お願いします。

[取りまとめ、発表者の選出]

・各グループからの報告

【源野和清文教消防常任委員長】

それでは、各グループの発表時間に入りたいと思います。

せっかくなので、我こそはと思う方、お手を挙げていただきたいのですが、よろしいでしょうか。――では、Dグループからです。よろしくお願いいたします。前に出てきてください。

【Dグループ・参加者①】

皆さん、お疲れさまでございます。

Dグループは、協議の中、文化の継承と発展ということで、それにまつわることを現状とか課題、それから今後こうあってほしいということを4つの切り口で分けさせていただきました。

「もの」、作品ですね。それから「ひと」、づくり手、販売という視点で書かせていただきました。それから「こと」、こういうことをした、こういう展覧会があったらいいとか、こういう悩んでいることに対しての思いを書かせていただきました。そして「お金」、これはどうしても文化の継承と発展には欠かせない。どの経済活動もそうですけれども欠かせないと。それに対する「もの」をつくられる方からの視点と、販売する人間の視点で書かせていただきました。この4つの視点でお話をさせていただきたいと思います。

今、隣にいる染色をされている方から、特にそれぞれのいろんなことをここに書かせていただいているのですけれども、加賀友禅の現状と課題と、それから今後のことについて一つの事例として挙げて説明をさせていただきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

【Dグループ・参加者②】

市内で友禅をやっています。

自分の体験談になってしまって恐縮ですが、私は卯辰山を卒業して、加賀友禅の先生のところから弟子について5年学んだ後、今、自分で個人的に作家活動をしているのですけれども、私が今思うのは、加賀友禅の学校をつくりたいと思っているのですが、私も加賀友禅を勉強したいと思っていたのですが、ずっとなかなか勉強できない状態で、卯辰山に入ってもやっぱり友禅の勉強はできるのですが、加賀友禅の本当の先生の技術を学ぶことができなかったもので、そのときに思ったのですが、漆芸と丸谷は技術研修所はあるのに、何で加賀友禅の学校はないのかなというのを思っていて、本当に友禅の勉強をしたいと思う人が入れる学校があってもいいなと思っています。

今、子ども塾とかで加賀友禅に触れられる機会は小さいのはあると思うのですが、それをその子どもたちが大きくなっても続けたいと思っても、それを受け入れる場所がないので、学校があつたらいいと思って、私はそういうふうに意見を出しました。

今、着物をつくるのに本当に3カ月とか大変な時間がかかるのですけれども、着物が売れる値段がどんどん安くなっているのですけれど、生地代とか材料費がど

んどん高くなっていくのは困っています。

私は今、加賀友禪の落款を登録していない状態で友禪の活動をしているのですが、その落款登録しなくても加賀友禪だというふうに認められるようなそういう環境にしていただけたらいいなと思います。

【Dグループ・参加者①】

今、加賀友禪の話をしていただきましたけれども、今、全国にある美術学校の入学者数の半数以上が実は女性が占めておりまして、その卒業生もほとんどその中でプロの作家になっているのは女性のほうが多いというふうに言われているということで、彼女は申し上げませんでしたけれども、やはりそういう作家の方々が金沢に集まって、レベルが上がって、逆に新幹線に乗ってそういう作家を見たい、買いたいと思えるようなまちにしていくべきではないかなということで、特に彼女のお話を聞いていただいたのですけれども、一つ私の事例としては、ある着物の作家さんがいらっちゃって、ある商社にその商品を預けました。それが、商社さんの中で価格が10倍になった。それが10倍になっていつまでも売れずに突然返ってきた。それでごめんなさい、次の新しい作品をつくってくださいって、今度つくる気になれませんということになったそうです。その作家さんはどういふことをしたかということ、全国の百貨店の美術画廊をずっと回って、お願いします、お願いしますということで、やっと展覧会、個展をするということになったということでございます。

ちょっと今、事例になったかどうかわかりませんが、やはり金沢には素晴らしい工芸がありますので、そういう環境をもう少し整えていただく。それは作り手もそうですし、販売もそうですし、そういうことが可能性というか希望があるので、ぜひそういうお取り組みを今後進めていただきたいという思いでこのようにまとめさせていただきました。

【源野和清文教消防常任委員長】

ありがとうございました。(拍手)

それでは、順番にいきたいと思いますので、Cグループさんに回って行ってよろしいでしょうか、お願いいたします。時間は5分でご協力のほうをよろしくお願いいたします。

【Cグループ・参加者③】

よろしく申し上げます。

私は、こっちに来てまだ1カ月ちょっとというすごく浅い期間を過ごしているのですが、その中でもやっぱり金沢というところに来て、工芸が目につく機会はすごくふえたというのがありました。私たち作家からの視点として、物をつくっていく上で売れるものをつくるということと、つくりたいものをつくることとの、どうやって生きていくかということと、つくりたいものをつくること、どうやって生きていくかということとを少しお話ししたいなというふうに私たちのグループはなりました。

その中でも、ここに書いてあるのですが「メーカーとの連携」「デパートへの販売」「物産展の参加」「海外への販路支援」、そういうところを私たちに機会を与えていただければなというのは、つくるということに集中をするというのと売っていくということの両方を私たちがするってなると、また大変というか、プロの販売員の方の育成とか、販路拡大に広がるための専門の方と一緒に連携していくことで、つくり手と販売という点で発展していけるのではないかとというのが私たちのグループのまとめになっています。

【源野和清文教消防常任委員長】

ありがとうございました。（拍手）

時間を考えながらコンパクトに核心をついてまとめをしていただきまして、本当にありがとうございました。

それでは、次のグループ、よろしく願いいたします。

【Aグループ・参加者④】

よろしく申し上げます。

私たちのグループは、結構自由に発言をして雑談みたいな感じで話して、まとめられている感じではなくなってしまったのですが、恐らくここ2人が卯辰山工芸工房の出身で、その工芸工房というところに行って、そこから活動して、若手支援も充実した支援であるとか、市場であるとか、それはすごく充実しているという話をしている、金沢自体も魅力があるという話をしました。そのほか、金沢のブランド力は、私は京都の大学に行ったのですが、その差別化とか、何かその後のどうやって売っていくのかとか、もっとメディアに取り上げてもらって広げていったらいいのではないかとという話をしました。

工芸工房でも金沢でも知名度が多分低いという話は今ここであって、例えば工芸工房自体をメディアに取り上げてもらったりとか、それから私たち担い手や中高生とかがもっと来るような工夫ができたりとか、つくるだけじゃなくて、より広がる努力をしていけたらいいと思いました。

【Aグループ・参加者⑤】

今回初めて卯辰山工芸工房出身の方、在校生の方とお話しさせていただきました。お二人ともやはり県外出身者ということでございました。県外出身者の人がなぜ金沢に来てこういう工芸を学びたいかというのを、実は彼女らに内心少し聞いておったのですが、やはり金沢というのは京都と違って人口的にも少ない、競争相手が少ない、そういった地の利のメリットがあるので、金沢で活躍したほうがマスメディア、東京でも注目されるのではないかとというご意見をいただきました。まさしくそのとおりだなと私自身は思いました。

【源野和清文教消防常任委員長】

ありがとうございました。（拍手）

それでは、次、申し上げます。

【Bグループ・参加者⑥】

よろしくお願いします。

私たちBグループは、さまざまな意見が出て、「まちのこと」「売ること」「見せること」「使うこと」「伝えること」、あと「工房や外国についてのこと」「何かとコラボすること」、あと「集客すること」といったテーマの内容が出ました。

個人的な意見かもしれないのですが、最も言いたいことといたしますと、例えば見せることとか今後についてとか、作家さん、物をつくる人が自分で解決していけることというのは結構多いと思うのですが、その作家さんなど個人で解決できないこととして、まちづくりとかまち並みのこととかということがすごく大切なことだと考えています。

ふだん、多くの作家さんと触れ合っている中で、作家さんが物をつくる時に、例えばまちを歩いていてすごく美しいものがある、それに感じたり感動したりするところから美しいものがつくられていくということがすごく基本としてあって、それがなければ作家さんは金沢にいる必要はないし、どこにいても作家さんはつくっていけるので、多分もう金沢から去っていかれるだろうし、金沢に旅行に来る方も金沢の美しさを求めてやって来ると思うのです。

金沢に緑が多いということ、また、例えば文化施設や映画館、書店なども文化にまつわるものがしっかりと保たれているということ、そういったことが最終的には金沢の工芸品や文化というものの質を上げていき、それが買われるものになり、金沢の魅力になっていくのではないかと思います。そういうことは私たちではできないことで、金沢市として志を持ってやっていただきたいと思ってお伝えしたいと思います。

【Bグループ・参加者⑦】

さっきも話しているとおり、私も結構金沢の風景とかを軸に制作をしています。茶屋街や卯辰山工芸工房をやっているのですが、やっぱり作家は本当に自分で頑張るしかない。やっぱり販売まで手をかしてくれたらありがたいのですが、でも、基本はみんな一人で頑張っているし、本当に自然とかが美しいと思いました。

【Bグループ・参加者⑧】

加賀象嵌の普及とか後継者の育成をしています。

そういった中で、象嵌という漢字がなかなか難しく、漢字で誰も読めなかったりとかするのですが、子供たちは象嵌という漢字については興味を持って、「これ何て書いてあるの」「どういうもの」という興味を持ってくれます。実際にワークショップとかすると、とても楽しそうに小学生がワークショップをして、象嵌ということを身近に感じて知ってもらえるようになります。そこから大人になっていくにつれて、象嵌のこととかいろんな伝統文化のことをわかっていただけると、購買といったところにもなるのかなと思っています。

普及させる手段として、先日、くまもととコラボすることがありまして、そうすると、くまもんを好きな人が象嵌に興味をもって体験をするといったことがありました。通常、ワークショップとかやっても来ないような人が来たことはとても目が開いたというか、伝える、普及させる手段ということをもっともって考えていかないといけないなというふうにそのとき思いました。

先ほどもまち並みということがありましたけれども、金工の作家さんもよく朝散歩するときに、道端の草花を見てスケッチをして、それをインスピレーションでモチーフにしているというようなことも聞いたことはありますので、金沢のまち並みをきれいにといったところはとても共感できました。

【源野和清文教消防常任委員長】

ありがとうございました。(拍手)

それでは、最後にEグループ、よろしく願いいたします。

【Eグループ・参加者⑨】

よろしくをお願いします。

私たちのグループは、まず作家の本音の部分と、あとそれを踏まえてどういう支援を求めているか。あと、積極的に発信する、流通、販路拡大に向けてどうしていただきたいかといったことをまとめています。結論として、販路拡大に向けてどうするか、あと設備をどうするかということにつなげていきたいと思えます。

【Eグループ・参加者⑩】

本音の部分では、工芸と一口に言ってもいろんなものを指していて、例えば私たちのような若手作家を指すこともあれば、世襲でやっている何代目の人を指すこと、駅やお店で買えるお箸みたいなものを指すこともあって、どれを支援するのかというのが大事なのではないかと思いました。

【Eグループ・参加者⑨】

あと、職人さんややめられた方とかの工房や道具を譲り受けたいとか、そういった本音があります。ただ、これは私たちの甘えの部分です。甘えの部分ですけども、その点に関して先輩作家さんの戒めをいただきまして、お聞きしたいと思えます。

【Eグループ・参加者⑪】

金沢は実は工芸関係の支援施策はすごくいっぱいあると感じていまして、それはすごく充実していると思うのですが、それに作家が甘え切ってもいけないと思っています。

いろんな施策があるのですが、何か結びつきがちょっと、それぞれが単独で存在しているような感じが印象としてありまして、一つ一つをもう一回見直してもいい時期というのがあるのではないかというのを感じていて、支援策ができた当時の時代背景とか状況は今と変わっていて、もうちょっとここはこうなったほうが使いやすいというのは時々感じています。

【Eグループ・参加者⑨】

そうですね。先ほどのグループもおっしゃっていたように、支援、政策をしていただけるというのは僕ら工芸作家にとっては非常にありがたいところはあるのですが、そのおかげで私たちは続けられているのですが、それが甘えとなってしまって、例えばよくない作品というのなんですけど、それを支援していただくことで、それが工芸のレベルを下げることに繋がっていくのではないかと。そういったジレンマもあると思うのです。例えば作家さんの交流の場を持っていただけるとか、あとは金沢市で若手作家をウェブ上でPRしていただくとか、そういったことは作品のよしあしにかかわらず、見ていただける人をふやすことにつながると思います。

そして、東京オリンピックとかそういうのもありますが、東京に来ていただいた外国人とか、アンテナショップ銀座の金沢だとか、そこに来ていただいた人が工芸を買うのだったら金沢に行こうと思えるようなつながりができると、もっと金沢に来ていただけると思います。

【Eグループ・参加者⑫】

新幹線が開業しまして多くの観光客の方が来県されております。

ここにいらっしゃる皆様も卯辰山工芸工房の若い方たちが多い中、いかにそういう若手作家を支援していくのか。今回の文化の継承と発展についてということでの、若手の活躍の場を広げることが文化の発展につながると思っております。

今、金沢市に実際に金沢の工芸品を使っているのかどうかということ、売り場の視点からいいますと、やはり売り場では観光客の方のほうが断然多く、実際の市民は使えているのかというと、高級料亭などでしかそういう作品は使えてないのではないかと感じておまして、市民レベルまで作品を使う、市としてお金を使って、市民には格安で売れるような補助金というものがあれば、作家の方も喜びますし、私たちお店も喜ぶのでいいと思っています。

あとは観光客にとっては今、レンタル着物というものがはやっておまして、まち歩きも着物を来て歩いている方がよく見受けられます。そのような方が、金沢は雨が多い地域ですので、駅から武蔵、東山、香林坊と地下道で一続きにつながると、いつでもどこでも歩いて観光できるのではないかと感じております。その地下道も作品の展示スペースとすることで、若手作家の活躍の場にもつながるのではないかと感じております。

あとは作家さん同士の横の交流、流通との交流の場をふやすことで、今後の発展を見込めるのではないかと感じました。

【Eグループ・参加者⑨】

そういうことで、私たち作家は、まずいいものをつくるということに尽きるわけですが、それを欲しいと思わせるとか、欲しいと思う方をここに来させるということが結論です。

【源野和清文教消防常任委員長】

ありがとうございました。(拍手)

ただいま発表していただきました5つのグループの皆様に、改めて拍手のほうをよろしく願います。ありがとうございました。(拍手)

そして、時間の関係で本当は発表していただきたかったのですが、本日ご参加いただいた一般の方々からもこのように販売に関して、市民の意識、また広報について、作家支援など、ワークショップに参加していただきました。本当に皆様の真心をいただいた、本当に楽しい充実した本日のワークショップだと思っております。皆様方の本日のご意見といただいたアイデアを、また私たち金沢市議会に取り入れてしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

なお、ここでご案内が一つございます。今、皆さん、いろいろ見ていただきまして、いろんなことを考えていらっしゃると思います。お手元に配付させていただきましたアンケートのほうに皆様方のご感想もしつかりとお書きいただきまして、お帰りの際に受付にお渡しください。よろしく願います。

それでは、進行をかわります。

5. 閉 会

【高誠経済環境常任委員長】

それでは、閉会に当たりまして、金沢市議会、下沢広伸副議長からお礼のご挨拶を申し上げます。

【下沢広伸副議長】

本日は、皆様、大変お忙しい中、そして夜遅くまで、この意見交換会にご出席いただきましてありがとうございました。

この意見交換会、当初は報告事項が重点になりまして、その後、関係者の方々との意見交換会、きょうは、ワークショップによっていろいろな方々、ちょっと拡大した方々からのご意見をいただきました。我々はこの運営方法もそうですし、きょうのワークショップで出ましたご意見を市政に対しまして少しでも議論していく、そして施策に反映していくということをさせていただきたいなと思っております。

最後になりましたが、本当に遅い時間までおつき合いいただきましてありがとうございました。

また、きょうはお忙しい中を来ていただきまして、また皆様も引き続き意見交換会にご参加いただきますよう重ねて願います。閉会のご挨拶とさせていただきます。お疲れさまでございました。

【高誠経済環境常任委員長】

それでは、以上で意見交換会を終了いたします。

改めまして、今後の参考にもさせていただきますアンケートのご協力をよろし

くお願いします。

本日はありがとうございました。

以 上